

吹田市集団回収業会
松浦 登さん
吹田鍼灸マッサージ師会
佐々木 陽明さん
吹田市職員労働組合執行委員長
丹羽野 和夫さん

出席者

井上市長 補助金削減、要請・対話も拒否 これまでの信頼関係が崩壊 吹田・行政の維新プロジェクト



松浦 全部で7500くらいある自治会の内、約400もの自治会や子供会が、集団回収業務に取り組んでいます。昭和55年に集団回収が始まった頃は、キロあたり2円でした。しかし2円では、地域自治会や子供会はなかなか取り組んでいただけず、その後3円、5円と値上げして現在の7円になってから、ようやく約400という過半数の団体が協力してもらえることになって、古紙回収もスムーズに進み、ゴミ減量につながるように

報償金の削減は、ゴミ減量に逆行し、かえって赤字を増やしてしまう

丹羽野 大阪維新の会に所属されている現在の井上吹田市長は、橋下さんのやり方を真似て、就任するなり「財政非常事態宣言」を出して、吹田市の事業を全面的に見直そうとしています。もちろん行政の無駄を削ることは当然のことですが、市民サービスを守る上で削ってはいけない事業もたくさんあります。

今回は吹田市集団回収業会代表の松浦登さんと、吹田市鍼灸マッサージ師協会会長の佐々木陽明さんをお招きしました。お二人とも井上吹田市長が進めようとしている事業見直しには、大きな危機感を感じておられます。まずは自己紹介をかねて、今何が問題になっているのか、説明をお願いします。



集団回収がなくなると、ゴミの量が増え、焼却炉のコストが上がってしまいます(吹田市北工場)

丹羽野 もし集団回収せずに、すべて民間業者に任せてリサイクルすると、いくらくらいかかりますか？

松浦 専門家の資料では約40円とされていますが、私はもう少しコストがかかると思っています。運搬・輸送だけで20円はかかるし、選別作業、焼却灰の埋め立てなどを考えると60円近くかかるのではないのでしょうか。

丹羽野 すると、子供会などに7円で頼む方が行政としても安上がりだし、リサイクル意識も芽生えるし、ゴミ減量も進むというわけですね。

松浦 そうです。むしろ報償金を10円くらいにしてあげて、ゴミ減量をさらに進めれば、ゴミ焼却炉の寿命も延びるし、焼却コスト

「事業仕分け」で突然報償金を削る案が

松浦 私は新聞や雑誌、段ボールなど再生可能な資源ゴミ回収業の近代化協議会吹田支部で支部長をしております。吹田市長は30年以上前の榎原市長の時代から、ゴミ減量に積極的に取り組んできまして、私も再生資源回収業界もリサイクル事業に貢献してきましたつもりです。昭和50年代に吹田市が全国に先駆けてゴミの5種分別を行ったときは、全国各地から視察も来て、一市民としても吹田市のゴミ行政に誇りを感じておりました。

ところが、現在の井上市政に変わって、突然「事業見直し」とのこと、集団回収事業の報償金をバツリ削ると言う案が出てきて、ビックリした次第です。

丹羽野 再生資源ゴミは、吹田市の各地で自治会や子供会など

も下がります。現在のキロあたり7円の報償金は、すでに各自自治会の運営費用として有効に使われているところが多いのです。むしろ、このお金が減れば、地域の事業にも支障をきたすことになるのです。だから自治会として反対されているところが増えているのは、あたり前のことです。

高齢者(65歳以上)への鍼灸マッサージ助成金も縮小に

丹羽野 資源ゴミの集団回収と同じく、鍼灸マッサージについても、吹田市独自の補助制度を見直すという提案がされていますね？

佐々木 今回の「事業仕分け」で、高齢者への鍼灸マッサージ助成金を縮小していくことになりました。この高齢者への鍼灸マッサージ補助については、昭和48年から私も「吹田市鍼灸マッサージ師会」や「鍼灸師会吹田支部」な

松浦 登さん



が集団で回収して、その資源ゴミを松浦さんたちの業者さんが、ゴミとして燃やさずにリサイクルされているのです。

松浦 そうです。それで現在は自治会や子供会など、集団回収してくださる地域の団体に、キロあたり7円の報償金が吹田市から出されているのです。日曜祝日に、朝から集団回収業務に取り組んでくださる地域の団体へ、補助をするのは当然だと思っております。吹田市はこの補助金を減額する、と提案しているのです。

丹羽野 吹田市全体で、どれくらいの自治会が集団回収をされていますか？

だが、行政に要望を繰り返して、昭和59年によくはじまった事業です。現在は、はりきゅうマッサージを受けられる際にかかる費用3900円を、高齢者1300円、治療院1300円、吹田市1300円の3等分して援助する仕組みです。65歳以上で吹田市に住所があれば外国籍の方でもOK、この7年間の平均でいうと、吹田市として年間4300万円の予算があれば、この制度は維持できます。

丹羽野 1年間にどれくらいの利用者がおられますか？

佐々木 対象者が約6万8千人おられて、利用者が約5千人です。率にするると7.2%の高齢者が利用して

重い病気になるための治療が鍼灸の役割

佐々木 陽明さん

